

◇基調講演

「2040年の挑戦」が始まる！～シル・リハ体操指導士活動の展望～

講師 茨城県立健康プラザ 管理者 大田仁史

<要旨> ・高齢者数（29.5 末）3450 万人 75 歳以上 1700 万人 49.3%

- ・2040 年に向けた地域包括ケアシステムのニーズの変化。80～84 歳で急激に上昇。85 歳を超えたあたりから、中重度者の割合が増加。中重度者の増加は、看取りニーズの増加にもつながる。
- ・グラフ茨城県 44 市町村後期高齢者割合と要介護認定者の率（2017.4.1）座標軸原点 縦軸：後期高齢者割合 47.4%、横軸：要介護認定率 14.8%（計算式： $y=1.9118x+0.1877$ ）
- ・認定率を如何に抑え込むかの努力にかかっている。
- ・2040 年に向けた課題は「いかにして団塊の世代を看取るか」に集約される。重度化を遅らせ、介護期間の短縮化！
- ・グラフ死亡場所別、死亡者数の年次推移。2030 年には、その他（病院・施設・自宅以外）が 47 万人。恐ろしい予測が立つ。
- ・シル・リハ体操で 1 日でも多く、1 日でも長く高齢者が元気に生きる！ことです、と強調されました。